

伝統を活かす『ものづくり』と 地元産の安心な『食づくり』。



三遠南信
(さんえんなんしん)とは、愛知県
東三河地方、静岡県遠州地方、長野県
南信州地方を統合する名称で、
また、そのエリアのことです。
古くからつながりの深かった三遠南信の
将来ビジョンである5つのテーマ
(技、住、山、風土、道)をシリーズで
ご紹介していきます。

脈々と受け継がれる「伝統の技」。

三遠南信地域は、東西は東海道、南北は塩の道などでの活発な交易により、他国の文化が往来し、郷土の伝統文化と融合して「新しい技」へと発達してきました。昔からの伝統の技を継承するもの、従来技術を最先端技術の導入で、より発展させたものなど、その根底には「ものづくり」へのこだわりやチャレンジ精神が息づいています。

「地産地消」で「食の安全」の確保へ。

中国製の冷凍餃子や消費期限偽造問題などにより、全国的に「食の安全」への意識が非常に高くなっています。昔から「四里以内で食をとれ」と言って、自分と同じ気候風土で育った食べ物が体に一番合うと言われていました。現在では、※「地産地消」活動が全国で取り組まれ、三遠南信地域でも地元産の安全な食物のPRを推進中です。

※「地産地消」とは、地元でとれた農産物をその地域の人たちが食べて、消費すること。



私達は三遠南信地域連携ビジョンに協力しています。



静岡文化芸術大学



豊橋技術科学大学



愛知大学

Vol.1

技



豊橋筆の美しさ、書き味の良さは見えない努力に支えられています

東三河エリア

温暖な気候の海岸部から山間部の奥三河まで南北に広がる東三河地域では、農業を基盤として伝統技を活かす手工芸も盛んです。全国的に著名なのは、国の伝統工芸品に指定されている「豊橋筆」(豊橋市)(高級筆としては全国シェア八〇%)です。機械化が進む今日でも手づくりによる卓越した伝統技術を守っています。また自然石の形を活かした手彫りの「鳳来寺硯」(新城市)は、芸術性の高い伝統工芸品となっています。現代産業では、「コンタクトレンズの製造(日本初)」(蒲郡市)や星空を造る「プラネタリアウム製造」(豊川市)、自動車産業の端を担う「自動車製品製造」(田原市)など先端技術を競っています。東三河は昔から農作物の宝庫であり、愛知県の伝統野菜に指定された「メロン」(渥美アールス)「渥美白花絹さやえんどう」(田原市)や「八名丸里もも」(新城市)をはじめ、日本一である「ブロッコリー生産」(田原市)と「養鶏」(豊橋市)など豊富な野菜・果物栽培や畜産で、全国有数の農業王国として知られています。その他にも、日本一の大桶による「味噌・醤油づくり」(豊川市)、全国に知られる「焼きちくわ」(豊橋市)など毎日の生活に密着した地元産の安心な「食づくり」にも貢献しています。

職人技が光る伝統の「豊橋筆」や手彫りの「鳳来寺硯」、
地場で育まれ愛知県の伝統野菜に指定された
「八名丸里芋」や渥美半島の「温室メロン」など。



オリンピック招致活動のロゴマークが入った飯田水引製品

南信州のものづくりは、農業を基盤としながら製糸・生糸・水引・味噌・木工などの家内工業的な地場産業が栄えていました。特に日本三大桑園のひとつと言われるように製糸業が盛んでした。その後、製糸業で培った技術が近代産業へと発展し、電子、精密、光学産業として成長してきました。伝統工芸では元結・水引・染色・紬・和紙製造などがあります。特に「水引細工」(飯田市)は全国シェアの七〇%を占めています。その飯田水引は、水引でデザインした「月桂樹の冠」が長野・パリンピックで採用、最近では二〇一六年東京オリンピック招致活動のロゴマークに「結び」がテーマの水引デザインが採用され大きな話題となっています。その他にも、国伝統工芸品指定の「ろくろ細工の木工品」(清内路村)や江戸時代から続く「阿島傘(和傘)」(喬木村)など今も伝統のものづくりを大切にしています。南信州は、風土と気候と豊富な水資源をもとに、全国に誇れる食品づくりの地域としても有名です。野菜や果樹栽培のほかに、凍み豆腐や保存性に優れた半生菓子(全国シェア四〇%)、高森町が発祥の地と言われる「市田柿(千柿)」・清酒、漬物、味噌・醤油製造など伝統的地場産業が集積しています。



南信州特産の「市田柿」は甘味が砂糖の1.4倍

南信州エリア

全国シェア七〇%を誇る「水引」などの手工業と
電子・精密・光学産業などの製造業が成長。
フルーツ栽培も盛んな南アルプスを望む山間地域。

遠州エリアの中でも浜松市は、郷土の歴史に刻まれた様々な「技」を受け継ぎ、新しい物事に果敢に挑戦する「やらまいか」精神でさらなる「ものづくり産業」を発展させてきました。代表的なものとして、国産のオルガン・ピアノ、オートバイ、テレビなどはすべて浜松市が発祥の地です。現在のヤマハ株式会社、創始者である山葉寅楠は、国産初のオルガン・ピアノを製造し、世界に誇る楽器産業の先駆者となり、ピアノの品質を職人技で高めたのが、浜松市在住のピアノ調律師村上輝久です。その秀でた調律の技で世界を魅了しました。また、世界で初めてテレビのブラウン管に映像を映し出すのに成功したのが高柳健次郎でした。その光技術が研究・開発され、世界のシェアを占める光電子増倍管技術となっています。一方、伝統工芸では手ぬぐい、ゆかたで有名な「浜松注染そめ」(手織りの「ざんざんざ織り」(浜松市)や「竹細工」(掛川市)、遠州鬼瓦(袋井市)、「手筒花火」(新居町)など、ものづくり魂が今も健在です。「食づくり」では、全国に名高い「うなぎすっぽん」の養殖(浜松市)、農産物では「三ヶ日みかん」(浜松市)、生産高日本一の「温室メロン」(袋井市)、「遠州森の茶」をはじめとした遠州各地での茶づくりも今なお盛んとなっています。



美しいピアノ音を追い求め、単独で渡欧。ヨーロッパ紙面で高い評価を受けた、調律師 村上輝久氏。



世界で初めてブラウン管に映像を映し出すことに成功した「イ」の字

妥協を許さぬ匠の技と最先端技術を融合させた
日本有数の「ピアノ・楽器・オートバイ生産」。
全国に名高い浜名湖周辺の「ウナギ」の養殖事業。

遠州エリア